

2026

1

図書館運営委員の先生方と図書館職員が
おすすめの1冊をご紹介します！

新着図書

VOL.
44

News Letter

新しい一年が始まりました。今年の干支は「午」。目標に向かって前進し、走り抜けるチャンスです。
何かを始めるにはぴったりのこの季節、興味のタネを育むきっかけに、ぜひ図書館をご活用ください。

今月の教員おすすめ本

公共政策学部 福祉社会学科
瀧本 知加 准教授

学力喪失

認知科学による回復への道筋 (岩波新書)

今井むつみ
学力喪失
——認知科学による回復への道筋

岩波新書
2024

今井むつみ著
岩波書店 2024.9

請求記号
141.33||I



所在
新着コーナー

本書は、認知科学の視点から、子どもたちの学力がいかに「身についていないか」を丁寧に説明するものです。問題が解ける・解けないだけでなく、何がどのようにわかつていないのか？を丁寧に解説しています。子どもたちの躊躇ポイントやわかるための手立てなど、学力の新しい解釈につながる、必読の書です！



今月の職員おすすめ本



地名 はどのように決まるのか



地名はどのように決まるのか

国連による「地名の標準化」と日本の課題

春山成子ほか編

古今書院 2025.10



所在
新着コーナー

日本海の呼称を巡る論争や、平成の大合併後に増えた、独自性のない市町村名など、地名は人名と並ぶ2大有名詞群にもかかわらず多くの問題を抱えている。国連が掲げる「地名の標準化」の実現は可能なのか。身の回りの地名の成り立ちや、歴史的背景を深く考えるきっかけを与えてくれる。



博士が愛した論文



研究者19人が語る“偏愛論文”アンソロジー

橋本幸士ほか著

日経ナショナルジオグラフィック 2025.10



所在
新着コーナー

科学分野の研究者19人が「生涯忘れない一本の論文」への偏愛を語るアンソロジー。それぞれの論文のすごいポイント、どう読んで何を得たかなど熱く語る。論文を書く人も、読む人も、論文を読んだことがない人も、科学を愛するすべての人々に。



境界で踊る生命の哲学



皮膚感覚から意識、言語、創造まで

傳田光洋著

東京大学出版会 2025.3



電子ブック



学内関係者のみ利用可



サボテンは世界をつくり出す



「緑の哲学者」の知られざる生態 (朝日新書)

堀部貴紀著

朝日新聞出版 2025.10



所在
新着コーナー

食料・飼料としての活用、地球温暖化対策など、地球の救世主として注目されるサボテン。本書は日本の第一人者がその生態から文化的側面までを多角的に紹介する。研究を通して自然との向き合い方を思索する研究者の語りかけは、読む人の視野を広げてくれるだろう。



学内関係者のみ利用可



いきもの六法



日本の自然を楽しみ、守るための法律 改訂版

山と溪谷社いきもの部編

山と溪谷社 2025.8



電子ブック



学内関係者のみ利用可

尾瀬や上高地で落ち葉や木の実を拾うのは違法行為。川や海で釣りをするときは規則の確認とマナーを忘れずに。本書ではそんな自然や生き物を守るために様々な法律やルールを紹介する。まずは各章末にある身近な疑問のQ&Aから。自然に親しむことの楽しさと自然を守ることの大切さを教えてくれる。

今月の職員おすすめ本

優しくない地球でひとが生きのびるための80の処方箋

品田知美著

亜紀書房 2025.10



気候変動が進む“優しくない地球”で、私たちはどう生きていけばよいのか。文理をつなぐ環境社会学のアプローチから、日々の暮らしや人とのつながりに活かせるヒントを、80の処方箋としてわかりやすく紹介。不安の多い時代に、まず足元から未来を考え始めるための一冊。



所在
新着コーナー

請求記号
519.04|S

成瀬は都を駆け抜ける

宮島未奈著

新潮社 2025.12



唯一無二の主人公、膳所から京都へ。あの成瀬あかりが、今度は「京都を極める」べく我が道をひた走る。魅力的な人々だけでなく、京都に住んでいればお馴染みの場所や、思わずニヤリとなるご当地ネタの数々も登場。いざ、成瀬と共に大団円のラストへと駆け抜けよう！



所在
新着コーナー

請求記号
913.6|M

冒険者たち

特権的文学のすすめ (水声文庫)

鈴木創士著

水声社 2025.3



文学者でミュージシャンでもある著者が「文学とは何か？」を根本から問いつぶやく思想的エッセイ。文学は単なる娯楽や教養、消費される商品ではなく、危険と覚悟を伴う思考の冒険であり、孤独と緊張を引き受ける者のための〈特権〉である、と語られる。読者を挑発する濃密な1冊だ。



所在
新着コーナー

請求記号
914.6|S

春休み長期貸出を実施します

春休みに伴い、下記のとおり図書の長期貸出を行います。どうぞご利用ください。

対象者

学部生・大学院生・教職員等の方

長期貸出対象期間

2026年1月27日（火）～2026年3月23日（月）

返却期限

2026年4月7日（火）（延長はできません）

貸出冊数

学部生・大学院生 12 冊まで
上記以外の本学関係者 6 冊まで

※4回生、大学院生、教員の方は、特別貸出も併用可能です

館内資料閲覧コーナーのご案内

インターネットコーナー（一般利用者用）に、
館内資料閲覧専用端末を設置しました！

所在が「府大：2Fカウンター」となっているCD-ROMやDVDは、こちらの端末で閲覧ができます。



No.	予約人数	刷年	所在	請求
1	0		府大：2F カウンタ	375.9 N 500084357 館内利用

★ご利用の際は、カウンターで申し込みが必要です。

ぜひご利用ください！





その他の新着図書 (一部抜粋 *冊子体の所在は新着コーナー)



書名	著編者名	出版社	出版年	請求記号	
0類 総記					
情報セキュリティ読本 : IT時代の危機管理入門 7訂版	情報処理推進機構	実教出版	2025.9	007.609 J	
1類 哲学					
AI・ロボットからの倫理学入門	久木田水生ほか	名古屋大学出版会	2025.7	150 K	
世界食物神話	篠田知和基	八坂書房	2025.8	164 S	
2類 歴史					
飛鳥の古墳に葬られたのは誰か	猪熊兼勝	雄山閣	2025.8	210.33 I	
日本の都市地理学研究	阿部和俊	古今書院	2024.3	290.173 A	
3類 社会科学					
「新しい市民協働」を拓く : ハーバーマス、ロールズ、センの思想から考える	向井清史	藤原書店	2025.10	318 M	
「主体性」はなぜ伝わらないのか (ちくま新書)	武藤浩子	筑摩書房	2025.7	377.9 M	
4類 自然科学					
「科学的に正しい」の罠 (SB新書)	千葉聰	SBクリエイティブ	2025.10	401 C	
『種の起源』を読んだふりができる本	更科功	ダイヤモンド社	2025.8	467.5 S	
みなさん、脂肪肝をナメすぎです! : 生活習慣病のリスクを下げる最新知識 (ワニブックス「Plus」新書)	栗原毅ほか	ワニブックス	2024.12	493.47 K	
5類 工業					
水の戦争 (文春新書)	橋本淳司	文藝春秋	2025.9	517 H	
食品開発と官能評価 改訂第2版 (おいしさを測る : 続)	古川秀子ほか	幸書房	2025.10	588.09 F	
6類 産業					
令和の米騒動 : 食糧敗戦はなぜ起きたか? (文春新書)	鈴木宣弘	文藝春秋	2025.10	611.33 S	
熱帯の家畜と人 : 飼育と流通を地理学から探る	池谷和信	海青社	2025.3	642 I	
7類 芸術・美術					
名画の中で働く人々 : 「仕事」で学ぶ西洋史 (集英社文庫)	中野京子	集英社	2025.9	723 N	
スマートシティとキノコとブッダ : 人間中心「ではない」デザインの思考法	中西泰人ほか	ビー・エヌ・エヌ	2024.9	757.04 N	
8類 言語					
英作文の技術 : “3世界・24文型”で伝える (中公新書)	澤井康佑ほか	中央公論新社	2025.8	836 S	
危険な言語 : エスペラント弾圧と迫害の歴史	ウルリッヒ・リンス	国書刊行会	2025.9	899.1 L	
9類 文学					
爆弾 (講談社文庫)	吳勝浩	講談社	2024.7	913.6 G	
昭和女たちの食隨筆 (中公文庫)	木村衣有子	中央公論新社	2025.8	914.68 K	
電子ブック(学内関係者のみ利用可) ※1					
食のリスク学 : 沔濫する「安全・安心」をよみとく視点 ※1		中西準子	日本評論社	2010.1	
環境思想入門 ※2		橋本努	勁草書房	2025.7	

『新着図書News Letter』 44号

2026年1月発行 編集発行人 : 小林啓治

発行所 : 京都府立大学附属図書館 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

TEL 075 (703) 5128~5131 FAX 075 (703) 5192

HP <https://www.kpu.ac.jp/library/>

X (旧Twitter) アカウント名 : 京都府立大学附属図書館 (@kpu_library)

図書館HP



新着図書
NEWS LETTER
バックナンバー

